



洋書輸入協会会報

Vol. 27 No. 10 (通巻317号) 1993年 10月

理事会報告

9月17日(金)

(一) 7月・8月分収支報告

9月9日(木)付、総務委員会で審議の総務委員長の報告を承認した。

(二) 退会および入会

(株)オリオン図書部の9月末日付退会および(株)絵本の家の10月1日付入会(正会員)をそれぞれ承認した。

(三) 東京国際ブックフェア94のその後の準備状況について、8月末現在出展の申し込みは300小間中80%が予約済で9月より更にキャンペーンを実施、また11月、12月とマスコミ関連に働きかけ、PRを大規模に展開する旨高橋総務委員長より報告があった。なお、前理事長代行の関根氏(丸善)に引続き当協会準備委員代表として運営委員会等への参加を要請、承認された。

(四) JBIA メンバーズリストの最新版が現在作成中であることが佐々木広報・渉外委員長より報告された。

は会社再建をめざして新たな道を歩み始めることになった。

コレッツ社は、1934年富裕な実業家の娘だったエヴァ・リキットが当時ロンドンのチャーリング・クロス66番地になった有名な店“Bomb shop”を買い取ったことにはじまる。もちろん、この店の前の持ち主とは異なりアナーキズムとは関係のない同社だったが、リキット女史はこの場所で急進的な書物の販売を行うことになる。

以後、こうした性格は東欧との強い繋がりとともに、コレッツ社の特徴となっていく。1950年代には、通常の小売業の範囲をこえて事業が拡大する。本社をロンドンからノースハンプシャー州のウェリンボロに移したのもこの時期である。

皮肉なことに、東欧と深い関係にあった同社の経営が困難になった主な理由は、共産主義の終焉であった。ベルリンの壁の崩壊によってコレッツ社の旧東独への書籍販売における優越的な地位は覆され、1991年1月のロシアの書籍輸入中止は、同社におけるサブスクリプションビジネスの収益に£350,000もの損失を出したという。

中欧・東欧の政治環境の変化を反映して、1991年3月末にはコレット社の赤字は過去最悪の£406,000にのぼった。翌年は、若干好転し赤字は£122,000となったものの、売上高は630万ポンドに落ち込んだ。

1992年3月、経営コンサルタント会社のピート・マーウィック社出身のハリー・ムーア氏が社長に就任、同時

海外ニュース

英国大手取次店コレッツ社が破産

創業59年の英国の大手取次店コレッツ社が事実上破産し従業員の3分の2以上を削減、残った18名のスタッフ

理事会報告	1	お知らせ	3	うちの会社	6
海外ニュース	1	総代理店ご案内	3	東京の坂と橋と文明開化39)	7
海外出張零れ話	2	洋書輸入協会史82)	4	広告	8

にコレッツ社の改組が実施され、7月にはチャーリング・クロスに残っていた店舗がウォーターストーンに売却された。これで、コレッツ社の店舗はグレートラッセル通り付近で東欧関係書を扱う一店のみとなった。

43人のスタッフの解雇については、人員過剰だった部

門について行ったとのみ説明され、その詳しい経緯は明らかにされていない。

—Bookseller '93年7月20日号より抜粋—

海外出張零れ話 その2 やっぱり必要、計算書のチェック

JTBのヨーロッパ5ヶ国周遊の旅という団体パック旅行に参加したのは今年の6月末であった。

新婚さん達と85歳、84歳の老カップルを別にすると大半は我々（私と女房）位の初老カップルで構成された40名程度のグループで多くは海外旅行のリピーター達であった。

にも係わらず添乗員さんは社の方針に実に忠実で盗難事故未然防止の心得なるものを繰り返し繰り返し国と所が変わる度に話してくれた。

特にイタリアのローマではバイクによるハンドバックや鞆類のひったくりと幼児を含む子供の拘りが頻発するとかで、コロッセオ、スペイン広場はてはサンピエトロ寺院の中でさえ小人数の散策では片手で鞆を押さえる用心を常におこたることのない連続であった。

そのお陰で幸いにも我々のグループは一人として何処の国でも被害を受けた人はおらず、2週間の旅行が無事終って、成田に到着したときは、一人の出張と較べグループツアーの楽ちんさと添乗員の行き届いたサービスと注意にすっかり感激したものであった。

ところがである。家に帰って旅装を解きポケットの中から出てきた伝票類をなげなく見ると、その中に、イタリアの空港内の両替所でドルをリラに変えた時の計算書があって、その手数料が全額の35%も取られていたのを発見したのである。これはさすがの添乗員さんもホテル内は割高と言っただけで余り注意してくれないことであった。

慌ててイギリス、ドイツ、スイス等他の国でのそれを

見るとどれも3%~4%程度、まあいいや、金額もたいしたことはないし、第一、交換手数料何%と記入もないので係がうっかり一桁、間違えただけで悪気はなかったのだらうと思うことにしたが……。

しかし、ローマを早朝たつ時に一級と言われるホテルで従業員姿の怪しげな男がチップ集めに部屋から部屋を回っていた光景や、タクシーがやたら回り道をしたことを思い出し、どもも誤魔化し屋がイタリアの特定地域に多いような気がしてならなかった。

尤も16年前、フランクフルト書籍展に参加前立ち寄ったバリの日曜日の午前中、ルーブル美術館を右手に見る通りで私と並んで散策していた先輩が、目隠し用新聞紙をいきなり広げて襲いかかる二人のジブシー女にアタックされすんでのところで財布を奪われそうになったり、同日、観光バスから降りたところをいきなりパチリと写真を撮られモノクロ写真一枚約7千円也で売りつけられた昔のバリの出来ごとを考えると今回の損害など全くノープロBLEMかもしれない。

それにしても、冬虫さんのお話のように日本人は請求書でさえ殆どチェックしないのだから、まして通貨が次々と変わるヨーロッパの国々でその度に両替のコミッションレートまでしっかり計算する人は少なからうと自分を慰めた次第である。

しかし、我々日本人はこれから益々公私共々海外旅行の機会が増えることを考えると、やはり、請求書を始め海外での伝票類は必ずチェックするよう習慣づけることが必要かも。
(S.K)

お知らせ

平成6年(1994)新年懇親会の日程が下記の通り決まりました。

平成6年1月6日(木) 午後6時より

下記の通り、社名変更の連絡がありましたので、お知らせします。(1993年10月1日)

新社名: エム・アール・アイ情報ネットワーク株式会社

〒100 東京都千代田区大手町2-3-6 (タイムライフビル)

Tel. (03) 5256-2575 (変更なし) Fax. (03) 5256-2636 (変更なし)

代表取締役 佐藤 公久

NTIS サービス部長 徳 永 礼

旧社名: 株式会社 三菱総合研究所 情報サービス事業部

このたび下記のかたが入会されましたのでお知らせします。(1993年10月1日付)

正会員

株式会社 絵本の家 代表取締役 小松崎 敬子

〒171 東京都豊島区17-14 目白久保ビル

Tel. (03) 3985-3350 Fax. (03) 3985-4127

次の通り移転通知がありましたのでお知らせいたします。

シー・シー・エイチ ジャパン リミテッド

新住所: 〒104 東京都中央区新富1-1-7 銀座ティーケイビル3F

Tel. (03) 3553-1105 Fax. (03) 3553-1104

総代理店ご案内

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

Tel. (03) 3291-4541 Fax. (03) 3293-3484

■RotoVision SA (スイス)

(コマーシャル・デザイン、グラフィック・デザイン、タイポグラフィ等の年鑑デザイン書)

■Liberty Fund Inc. (U.S.A)

■タイトル エージェント

●論文撰集/犯罪学・刑事裁判国際叢書

International Library of Criminology and Criminal Justice.

(Dartmouth) 全30巻(予定) 各巻24,000(予定) 1994年1月刊行開始

●論文撰集/政治学・比較政治機構論国際叢書

International Library of Politics and Comparative Government.

(Dartmouth) 全25巻(予定) 詳細未定

洋書輸入協会史 (82)

洋書輸入協会顧問 相 良 廣 明

96 海賊版に関する答申書

昭和37(1962)年10月2日付のJBIA発No. 158で、海賊版について次のように会員に知らせている。

記

かねて新聞で報道されております通り、最近海賊版の横行が甚だしく、この度検察庁でも取締を強化することとなり、当協会に対し、意見提出方御要請がありましたので、別紙の通り答申書を提出致しました。各位におかれましても海賊版には充分御注意の上、情報が入りましたら御通知下さるよう御協力願います。(以上)

この答申書は、昭和37年9月27日付で東京地方検察庁へ、洋書輸入協会理事長名で提出されたものである。内容的には既に当協会史で年度毎に取り上げたものが記述されているが、いわば戦後の「海賊版小史」としてひとまとめになっており、概観するためには大変都合が良いので、相当長いものであるが、全文を収録することしよう。

答 申 書

洋書輸入並びに海賊版について意見具陳方御要請がありましたので、大要左の通り答申致します。

一、洋書輸入協会並びに洋書輸入について

洋書輸入協会は昭和16年、書籍及び定期刊行物の輸入を業とする者12社が集まり、我国文化の向上に必要な海外出版物、良書良誌の輸入を促進し、日本文化、技術の昂揚に貢献し、併せて業者相互の親睦を図る目的で海外出版物輸入同業会を作り発足しました。其の後漸次会員も増加し、洋書輸入協会と改名し、現在は全国に60社の会員を有し、毎年互選により理事長1名、理事8名を選任、運営されている任意団体であります。

第二次大戦以来杜絶していた洋書の輸入を再開する為、最も必要とする学界、諸官庁等と密接な連絡を保ちながら運動し、昭和23年在京英国使節団(大使館)を通じようやく英国書の輸入に成功、つづいて24年米国よりガリオア・エロア両資金による米国書、フランス使節団によるフランス書の輸入を経て、昭和25年民間貿易再開、昭和27年には自動承認制に編入され現在に至っておりますが、書籍の輸入については大変面倒でございますので、

大要は別紙「海外出版物輸入について」を御参照願います。

洋書輸入の代価は、大半の他の輸入商品と異なり夫々本国において定価が決められておりまして、目録にも明記されているのが普通で、この定価から商習慣として業者割引きがありますが、出版の実情と取引の状態により必ずしも一定しておりません。また輸入業者自体の問題もありますが、大体米国書の場合1ドル400円前後の換算で各業者とも販売しております。

これらの洋書の版權については、ユネスコ国際条約による©其の他の既存条約により、国際的に保護されております。この版權の譲渡については、各国および各出版社の出版状況並びに方針により一定しておりませんが、大体定価の10~20%程度の印税支払を以て契約されるのが通常となっており、各出版社との直接交渉或いは版權代表者等を通じて各一点づつ契約されます。これら版權に対する送金の許可も、洋書の輸入代金とは全然別個のもので、従って洋書輸入協会はこれらには全然関係致しておりません。

二、海賊版出版の経緯

昭和29年3月頃、本郷文京区森川町技術資料刊行会より、米国マグロー・ヒル社出版にかかるPerry; Chemical Engineers Handbookの、翻刻版出版の広告ビラを以て予約募集が行われ、「版權については発行所と交渉中」と附記してありましたので、同社東京支社駐在員を経て本国へ照会したところ、八雲書店名を以て交渉を受けたるも許可を与えたる事実無しとの回答に接しました。これについては同年5月同社副社長来日の砌、同社東京駐在員と共に技術資料刊行会を訪れ、同社責任者と紳士協定により発行取り止めの話し合いがまとまったと聞いております。然るに其の後この約束は無視せられ、原本と全く類似の翻刻本が、秘密頒布により全国に販売されたのが公然と売り捌かれた最初のものの様であります。

前記盗版の阻止について、マグロー・ヒル東京駐在員において夫々措置を講じつつあったところ、同年9月頃新宿区大久保 株式会社文献社により「翻刻版予約募集」

の大々的なビラが配布され、これに掲載する米国出版社マクグロウヒル、ジョン・ワイリー、レインホルド各社の出版にかかる書籍7点が出版されつつあることが判明、会員の申出により洋書輸入協会がこのビラにより各出版社に確かめたところ、いずれも著作権譲渡の事実なく、逆にこれら海賊出版の阻止につき協力方の依頼を受けました。

爾来これが成行きを注視しつつありましたところ、この文献社の盗版は月と共に増加し、同年末には米国出版社インターサイエンス社の世界的出版物 Encyclopedia of Chemical Technology 14 vols. 各25ドル(約1万円)のものを、各3,000円で予約募集を発表し、戦後の疲弊せる我国経済事情下において重要工業文献を格安に頒布し、日本文化の向上に資するものなりと豪語するに至りました。

当時文献社について調査いたしておりましたところ、同社は氷山の一角に過ぎず、既に東京、関西方面を中心に多数の不正出版を行っているものがあることが分り、中にはかなり大がかりな秘密出版社があり、これらが相互に強力な組織を以て売り捌きを行っている事実が逐次浮かび上って参りました。

それにつれて盗版の流布が次第に広範になり、やがてこれらの米国出版社はもとより米国出版界全体にも多大の衝撃を与え、本のブラックマーケット「東京版」(戦前は上海の盗版が世界的に有名で「上海版」と称されていた)なる悪評が蔓延し、これについては米国業界誌 Publishers Weekly, Jan. 1. 1955 に、「日本に増加しつつある米国書籍の著作権侵害」なる記事が発表され注目されました。かくの如く無制限に拡大せんとする著作権侵害行為に対し、その被害出版社は、米国政府より在日米国大使館を通じ、日本外務省宛強い抗議をすると共に、各出版社の取引先たる輸入業者並びに洋書輸入協会に対し、善処方の強い申入れがありました。

ここにおいて洋書輸入協会では、国際信義の立場からも、また会員からの強い要望もあって対策に乗り出し、先ず理事会に対し被害出版社からの告訴委任状を受けて、株式会社文献社を正式に告発することに決めました。

昭和30年春、被害出版社の一つであるインターサイエンス社社長が米国出版社の代表として来日、洋書輸入協会理事長 司 忠 と各関係官庁を訪問奔走し、遂に文部省社会教育局長を立会いとして文献社社長と会見、強

力抗議の結果、文献社は即時盗版出版を中止し、同時に印刷材料、既刊書籍の引き渡しを約し、大体昭和30年会計年度内に文献社は閉鎖することとして示談になりました。

文献社は結局破産致しましたが、この事実に対し逆に当時の著作権が明治32年制定の著作権法で、最高2,000円以下の罰金刑である盲点について、他の不正業者も更に続々海賊版を出版するようになり、30年2月洋書入協会が判明しただけでも、300余点が出版または予約募集中のものと推定せらるるに至りました。

これよりさき、洋書輸入協会は、著作権法の一部罰則の強化を文部省及び関係筋に陳情しておりましたが、昭和33年3月、議員立法により2年以下の体刑及び5万円以下の罰金刑に改められました。一方文部省においても、各大学が盗版を絶対購買しないよう指示されると共に、研究費についても配慮されることになり、また本協会各社も米国出版社とそれぞれ交渉して、できるだけ安い版権料をもって廉価合法的翻刻版の出版を推進し、学生にも買える洋書を作ることをもって海賊版の絶滅を期することとなりました。

これにより現在8社の出版社から約500点の合法翻刻版が出版され、内地で販売されるだけでなく広く全アジア地域へ輸出されることとなった次第であります。

答申のまとめ

洋書輸入協会会員と致しましては、以上の如き不正出版物により多大の損害を受けて参りました。例えば海外における重要な新刊書が日本に到着すると間もなく、或いは到着する前に海賊版が出版されて売り捌かれる為、正式輸入のものが全く売れなくなり不測の損害を蒙るばかりでなく、輸入に不安を感じるため、折角我国技術の向上に必要とする文献も充分に供給出来ないという事実も生じ、甚だ残念に存じている次第であります。この実害以上に海外における日本の信用の失墜が甚だしいことは、直接海外出版社からの輸入の窓口である当協会員の最も痛感するところであります。更に米国出版協会其他の団体は、この事実特に注目しており、重要出版物については、何らかの方法で日本への輸出を規制すべしとの強硬な意見も出ているやに聞いております。

また日本の著名な学者が海外の諸学会に出席の際、会議の席上これら不名誉な指摘を受け迷惑を蒙っているのみならず、海外から日本における学会に出席の著者が自

著の海賊版を発見し痛烈な批判をなされた事例もあります。目下科学振興の急務が叫ばれている折柄、これに必須不可欠な科学文献の輸入に支障を来すが如き事態に立ち至ることも危惧される次第であります。

かかる折柄、改正著作権法に基き、これら不正出版物の取締り実施を強化されつつありますことは、当協会としても誠に感謝に堪えない次第でありまして、今後貿易も自由化せられ、日本が文化国家として世界に伍して行く為にも、是非共斯様な破廉恥な行為は早急に是正し、一日も早く海外の信頼を回復して円滑正常な貿易を推進すべきであると存じます。

洋書輸入協会と致しましては、正当な輸入による重要文献の速やかな輸入を計る一方、合法的な契約による廉価な翻刻版を益々多く発行して、これらを必要とする読者層の要望にこたえ、不正出版物の防止に寄与致したいと念願する次第であります。(以上) (続く)

うちの会社

日本一高いビルに洋書店を開いて

有隣堂販売促進室洋書 鈴木 久二男

横浜に書店業を創めて、80有余年に至り、一応大きな洋書売場を開くことが出来た、と言っても、これはやや遅い店ではないかという譏りをまぬかれないような気がする。4分の3世紀以上に亘り、神奈川県の人々を中心に書籍の配給に苦心してきたのではあるが、こと洋書についてはこの義務を疎かにしてきたという反省がある。それについては、いささか理由がない訳ではないが、何と言っても東京という文化的・経済的に群を抜いた地域の近隣に位置する横浜が、何につけ東京の華やかさと規模の大きさの陰にあり、見過ごされてきたという地の利の不運さをあげることができる。距離的に近いということが、多くの必要・需要を東京で間に合わせるという事情を作ってきた。特にこと洋書については、神奈川県民の多くが、多くを横浜に求めないという、購買者・販売者どちらにとっても退歩につながる意識を培ってきたのかもしれない。

しかし、時代は急速に、生活、経済、社会を変化さ

せてやまない。今や、神奈川県は日本一研究者・技術者の多く住む県となった。人々が一日がかりで東京へ自分の求める書籍を購入しに行く悠長な時代ではなくなった。出来れば駅前でバイオテクノロジーの最先端の研究洋書を手に入れられればと願う時代になりつつある。世界は増々近くなり、さらに小さくなりつつある。ここにきてわが社はこの時代の変化、生活の変化が要求するものに答えるべく、遅々とした洋書販売の歩みに大いなる反省を加え、新たな決意と覚醒のもと、時代と人々のニーズに充分対応する書店として、洋書販売の拡張を決定した。ランドマークプラザ内に4万冊の洋書を並べ、神奈川県民の方々にその便宜を享受していただければと思う。日本一高いビルの中に出した書店であるが、この高さにふさわしい立派な書店にするには、まだまだ多くの人々のご鞭撻とご支援を必要とすると思う。長い眼をもって、倦まずたゆまず、この目標に向かって努力していきたい。

本郷界隈の坂 [10]

菊坂と菊富士ホテル (7)

丸善・本の図書館 鈴木 陽 二

◆ネフスキーの悲劇的生涯

ネフスキーという名を目にすると、きまってロシア革命の暗く悲劇的な側面が想い出される。ソ連の優れた日本学者であったネフスキーと彼の日本人妻は、スターリンによる粛正の嵐の犠牲となって刑死する。

ネフスキー (Nikolai A. Nevskii) が菊富士ホテルに投宿したのは大正4年(1915)7月で、わずか半年ほどの滞在であった。既に記したように、エリセーエフやコンラドの場合は東京帝国大学で体系的に日本を学んだのであるが、ネフスキーはペテルブルク大学卒業後、彼らと同じく官費留学生として日本に派遣されながらも日本研究に独学の道を選び、日本民俗学や方言研究の分野で大きな成果を挙げる。彼は神田の古本屋のおやじから民俗学者の中山太郎(柳田国男に師事して歴史的民俗学を唱えた)を紹介され、さらに、彼を通して柳田国男や折口信夫、金田一京助、石田英一郎などと親交する。

彼の研究方法はいわゆるフィールド・ワークで、徹底的な現地調査によって事実を積み重ねる実証主義的研究姿勢は、ようやく端緒についたばかりの日本の民俗学の進歩に大きく寄与することになる。柳田国男が『故郷七十年』で述べているように、ネフスキーはオシラ様、沖縄の言語、特に宮古島の方言、「西夏文字」などの研究に優れた実績を示し、さらにアイヌの研究を手掛け、また台湾の曹族言語の調査も行なうなど、持ち前の旺盛な探求心で多方面にわたる研究活動を行った。

1917年にロシア10月革命が起る。エリセーエフやコンラドがいち早く帰国したのに反し、ネフスキーは病に倒れた不運もあり、また先輩の忠告に動かされて引き続き日本に留まることとし、その間、小樽高商や大阪外国語学校にロシア語教師の職を得、小樽高商時代には満谷イソと結婚する。ところで、彼のロシア人の血が最後の研究テーマとなった西夏文字の解明にのめり込ませることになったといわれているが、ソ連に蓄積されていた膨大な西夏文字に関する資料が彼に帰国を決意させる。レーニングラード大学などに日本語教師の職を見つけて、とうとう14年という長い日本滞在を打ち切って1929年に単身帰国する。1933年には妻イソと娘ネリのソ連渡航も許可

され、ようやく一家そろって生活できるようになったものの、そのつかの間の幸せも1937年の逮捕であえなくついで、彼はシベリアに流刑となる。革命後の困難な時期を日本で安穩に過ごしたと見られたことや、日本婦人を妻にしたこと、一徹な性格などが原因で当局に睨まれることになったものだという。ひ弱な彼はシベリアでの強制労働に耐えられるはずもなく、1945年に死亡が伝えられる。次いで妻のイソも逮捕され獄死するが、夫婦とも死亡の場所さえわからない悲劇的な終末であった。娘ネリはコンラド一家に育てられ、健在なのがせめてもの救いである。ともあれ、彼の行った優れた西夏語の研究は世界的に評価を得、1962年には名誉回復が行われてソ連政府よりこの研究に対し「レーニン賞」が贈られた。

◆故国へ帰れなかったブレトネル

オレスト・ド・ブレトネルもコンラドやネフスキーと同様ペテルブルグ大学東洋学部で日本語を学んだ。明治45年に弟とともに来日して菊富士楼に短期間滞在したが、1916年(大正5)に帝政ロシアの大使館員として再度来日する。しかし、ロシア革命によって大使館が閉鎖されたために一時菊富士ホテルに止宿し、その後イギリスに渡りロンドン大学で世界的な音声学者ダニエル・ジョーンズに師事して音声学を学んだ。大正13年には大阪外国語学校に職を得て来日し、京都大学、三高、天理外語などでも音声学、ロシア語発達史やフランス語発達史などを講義し、日本に永住しながら日本の教育に一生を捧げ、1970年(昭和45)に神戸で死去する。日本政府はその功を讃えて勲4等瑞宝章を贈呈する。

日露関係の歴史を見るとぎくしゃくした摩擦の連続であったように思える。しかし、ロシアの日本への関心は世界に先駆けて生まれ、その優れた研究は継承され続けて今に至る。世界の日本研究が今日の高い水準に到達するに当たって、ロシアの日本学者の貢献がどれほど大きかったか、語り尽くせない。そして、それらの日本学者の中でも第一級の学者が、この菊富士ホテルから巣立って行ったことがなんとも不思議でならない。

Bibliographisches Institut社のドイツ語辞(事)典

ドゥーデン-ドイツ語大辞典 第2版

DUDEN-Das große Wörterbuch der deutschen Sprache in 8 Bänden

2., völlig neu bearbeitete und erweiterte Auflage

約4,000ページ、16.0×23.0cm 特価 各巻¥7,480 全巻¥59,840('94.4月まで)

'93年秋刊行開始、'94年完結予定 '94.5月以降 各巻¥8,140 全巻¥65,120

Meyers Neues Lexikon in 10 Bänden

見出語150,000、カラー図版16,000以上、各巻528ページ

Gebunden in farbigen Jacquard-Leinen (Sept. '93)

全巻特価¥140,800 ('94.4.30まで) '94.5.1以降¥151,800

Meyers Grosser Weltatlas

5., neu bearbeitete Auflage (Oct. '93)

25.5×37.5cm 538ページ ¥27,280

ドイツ本国においても最も権威ある語学辞典

Der DUDEN in 12 Bänden (ドゥーデン語学辞典) 各巻¥3,740

Band 1 : Die deutsche Rechtschreibung (正書法辞典)

Band 2 : Das Stilwörterbuch (語法辞典)

Band 3 : Das Bildwörterbuch (図解辞典)

Band 4 : Die Grammatik (文法辞典)

Band 5 : Das Fremdwörterbuch (外来語辞典)

Band 6 : Das Aussprachewörterbuch (発音辞典)

Band 7 : Das Herkunftswörterbuch (語源辞典)

Band 8 : Die sinn-und sachverwandten Wörter (同義語辞典)

Band 9 : Richtiges und gutes Deutsch (正しくて良いドイツ語)

Band 10: Das Bedeutungswörterbuch (語義辞典)

Band 11: Redewendungen und Sprichwörtliche Redensarten (慣用表現辞典)

新刊

Band 12: Zitate und Aussprüche (引用句と格言)(Sept. '93)

Bibliographisches Institut/Mannheim

日本総代理店

日本出版貿易株式会社

〒101 東京都千代田区猿樂町1-2-1

TEL.(03)3292-3755 FAX.(03)3292-8766

1993年10月 通巻第317号 洋書輸入協会

編集者 神田 俊二

〒103 東京都中央区日本橋1-21-4 千代田会館5階20号室

☎(03) 3271-6901 FAX.(03) 3271-6920

印刷所一藤本綜合印刷株式会社